

子ども読書支援センターニュース No.144

2016. 6. 1

山口県子ども読書支援センター（山口県立山口図書館）発行

TEL083-924-2111 FAX083-932-2817

<http://library.pref.yamaguchi.lg.jp>

★メールマガジン「本はともだち～山口県子ども読書支援センターニュース」配信中！

メールマガジン「本はともだち」は、新刊紹介や県内の行事など、より充実した内容で配信中です。読者登録の方法は県立図書館のホームページをご覧ください。

【山口県子ども読書支援センター行事】

★幼児のためのおはなし会

○日時：平成28年6月7日（火）11：00～11：20

○会場：山口県立山口図書館

○対象：幼児

★読書ボランティアリーダー養成講座

○会場：山口県立山口図書館 第2研修室 ○対象：子ども読書ボランティア、公共図書館職員、学校図書館関係者等

○定員：60名程度（要申込み・先着順） ○申込方法：各開催日の一週間前までに、電話、FAX、Eメールで申込み

○参加費：無料

第2回

○日時：平成28年6月11日（土）10：30～12：30 ○講師：村中 李衣氏（ノートルダム清心女子大学教授）

○内容：「あなた仕様の絵本講座」～あなたはどこで誰と読みたいですか～

第3回

○日時：平成28年6月25日（土）13：00～15：00 ○講師：中村 佳恵氏（「ぶどうの木」代表）

○内容：「昔話絵本を読み比べてみよう」～「おおきなかぶ」「かさじぞう」を中心に～

◎申込み、連絡先：山口県子ども読書支援センター（電話：083-924-2111 FAX：083-932-2817 Eメール：a50401@pref.yamaguchi.lg.jp）

【新刊紹介】 価格は消費税抜き

<絵本—乳幼児から>

『わっかが8ぽんスポン!』 矢野アケミ/作・絵 PHP研究所 2016.3 ¥1000

わっかが8本あるよ。輪投げをしよう！1のわっかを人差し指でおさえてみて。いくよ？えいっ！と投げたら、イルカにスポン！次の2のわっかを投げたら、今度は忍者にスポン！3、4、5、6、7、8と、わっかを投げていくたびに、いろんなものにスポンと入るよ。絵に描かれたわっかを、指で飛ばす真似をして遊べる参加型絵本。言葉遊びも楽しめる。

<絵本—3、4歳から>

『あたしときどきおひめさま』 いづちひろ/ぶん あみなかいづる/え BL出版 2016.3 ¥1300

お友達も皆、いつかお姫様になりたいって言う。でも、あたしはもう、お姫様なの。お爺ちゃん、お婆ちゃんの家へ行くと、お姫様って言うてくれる。庭でお花摘みをして、花の冠を被れば、あたしはたちまちお花畑のお姫様。お爺ちゃんと馬に乗って走ったら、今度はさらわれたお姫様…！小さな女の子の夢みる世界をロマンチックに、色彩豊かに描く。

『しんかんせんでいこう 日本列島北から南へ 日本列島南から北へ』 間瀬なおかた/作・絵 ひさかたチャイルド 2016.3 ¥1500

シユワーン。北の大地を、新幹線「はやぶさ」が雪を巻き上げ走る。北海道・本州・九州を新幹線でたどっていく乗り物絵本で、右から読むと北海道から九州、左から読むと九州から北海道に新幹線が走る面白い構成。各地のJR、主要私鉄路線や名所が俯瞰で細かく描かれており、乗り物絵本の醍醐味だけでなく、知らない土地への憧れも膨らむ、ワクワクする一冊。

<絵本—5、6歳から>

『たんぼレストラン』 はやしますみ/作・絵 ひかりのくに 2016.3 ¥1300

冬眠していた生き物達が目を覚ます頃。たんぼレストランが始まります。たんぼに水が入り、まずやってきた小さな虫達を、蛙がいただきます！田植えがすんだら、たんぼレストランは大賑わい。いっぱい食べて、食べられて…。大きなものが小さなものを食べていく食物連鎖の様子を、たんぼの1年の移り変わりとともに、力強いタッチで描いた、生命力に溢れた絵本。

『このあとどうしちゃう』 ヨシタケシンスケ/作 ブロンズ新社 2016.4 ¥1400

死んだおじいちゃんの部屋から、「このあとどうしちゃう」と書かれたノートが出てきた。そこには自分が将来死んだらどうなって、どうしてほしいかが書いてあった。こんな神様にいてほしい、天国はきっとこんなところ等、ワクワク楽しそう。でも、本当は寂しくて怖かったのかな…？死んだらどうなる？どうしたい？生きている今、考えてみよう！発想絵本第3弾。

<読み物—中学年から>

『山田県立山田小学校6 山田の殿さま、おしひの参観!?!』 山田マチ/作 杉山実/絵 あかね書房 2016.2 ¥1000

日本で48番目の県、山田県にある山田小学校4年1組カナタのクラスに山田城のお殿様が授業参観にやってきた。いつも通りにと担任のエノモト先生は言うけれど一番緊張しているのは先生みたい。お殿様に来てよかったと思ってもらえるにはどうすれば…？山田小学校で起こるすこし“へん”、なぜか“まったり”なお話が5編。2013年から始まった山田県立山田小学校シリーズ第6弾。

『ようこそ、ペンション・アニモへ』 光丘真理/作 岡本美子/絵 汐文社 2015.11 ¥1400

小5の新菜は、脱サラして「ペンション・アニモ」を開くことになった両親と共に山奥へ引っ越してきた。1組目のお客様は、不眠症に悩む鈴木さん。5日間の滞在のうちに、鈴木さんは実は熊なんじゃないかと思いが当たるのが積み重なっていく…。他に4組のお客の話あり。毎日小学生新聞連載を加筆・修正。第60回西日本読書感想画コンクール小学校中学年の部指定図書。

<読み物—高学年から>

『クマと家出した少年』 ニコラ・デビス/文 もりうちすみこ/訳 さ・え・ら書房 2016.3 ¥1300

何百年も前からインドに生息するナマケグマを、踊るクマとして飼育し、見世物にして生計を立ててきた一族。そこで生まれた少年ザキは、双子の小熊が芸を仕込まれる前に自然に帰そうと三人で家出した。母熊の代わりに危険なことを教えたり、餌となる虫を噛み砕いて小熊たちに与えたり。無事に目的を果たすことができるのか…。動物学を学んだ後、動物に関する絵本、児童書を次々発表し、高い評価を受けている作者の最新刊。

『かぐや姫のおとうと』 広瀬寿子/作 国土社 2015.2 ¥1300

小学校を卒業したばかりの想は、おじさんの竹の工房で優れた竹製品を編み上げる「いささ丸」と名乗る少年と出会う。少年は、1200年前に、竹取の翁に拾われ、かぐや姫と共に育った者の生まれ変わりだと言い、想の姉涼子を見たとき、昔抱いた熱い思いを思い出したと言う…。時を超えて紡ぐ壮大な愛のファンタジー。第60回西日本読書感想画コンクール小学校高学年の部指定図書。

<読み物—中学生から>

『メディチ家の紋章 上・下』 テリーザ・プレスリン/作 金原瑞人・秋川久美子/訳 小峰書店 2016.2 ¥2000

盗み出したメディチ家の金印を持って盗賊のもとを逃げ出したジプシーの少年。溺れかけていた彼を救ってくれたレオナルド・ダ・ヴィンチの一行と、素性を隠しながら行動を共にする彼の後を、残忍な男が追う。16世紀イタリアを舞台に、少年マッテオの冒険と成長を描く。作者は1994年にカーネギー賞受賞。本作品も2007年のカーネギー賞候補作となった。Sunnyside Books。

『さよなら、ママ』 キャロル・ガイトナー/著 藤崎順子/訳 早川書房 2016.3 ¥1900

ワシントンに住む13歳のコリーナのごく普通の生活は、ママがガンで亡くなってから、がらりと変わってしまった。パパは悲しみに打ちひしがれ、親友とはギクシャク、無神経な言葉を投げるクラスメートや、母を亡くした可愛そうな子という目で見える大人たち…。心の痛みを受け止め、悲しみを乗り越えていく少女の姿を丁寧に描く。喪失体験専門のカウンセラーでもある著者の初めての小説。

<ノンフィクション—小学校中学年から>

『まど・みちお みんなが歌った童謡の作者』 谷悦子/文 あかね書房 2016.3 ¥1500

5歳のある朝、突然父母や兄妹と離れ離れになり、祖父母と3人で暮らすことになった道雄。寂しい思いをしながらも、小さな生き物や草花をみつめ、耳をすまし、美しい世界にひきこまれていった。童謡「ぞうさん」の誕生秘話等、興味深いエピソードが細やかに書かれている。2014年に104歳の生涯を終えた、旧徳山市出身の詩人まど・みちおや彼をとりまく人々の人柄、作品の魅力を紹介した1冊。「伝記を読もう」シリーズ。

『コロッケ先生の情熱!古紙リサイクル授業』 中村文人/文 佼成出版社 2015.7 ¥1300

小六信和さん、通称コロッケ先生は岡山の製紙原料会社の社長さん。古紙業界で日本一の業績を目指す一方で、小・中学校に出向き、古紙を水に溶かして再生紙を作る実験を、20年間年間100回行ってきた。「1枚でも多くの捨てられる紙を救いたい」という熱い思いを持ち続ける小六氏の人物像と、古紙リサイクル授業の様子を紹介。第62回青少年読書感想文全国コンクール小学校中学年の部課題図書。

<ノンフィクション—小学校高学年から>

『はじめよう!アクティブ・ラーニング 1自分で課題を見つけよう』 白石範孝/監修 ポプラ社 2016.4 ¥2900

自分が疑問に思っていることを課題にし、それを主体的・能動的・協働的に調べて解決する「アクティブ・ラーニング」。「1自分で課題を見つけよう」では、課題を決め、情報を集め、まとめて発表するまでの基本的な調べ学習の進め方を解説する。他に、「図書館に行き調べよう」「現地取材で情報を集めよう」「メディアを使って調べよう」「情報をまとめて発表しよう」の全5巻。

<ノンフィクション—中学生から>

『手をつなごうよ フィリピン・ミンダナオ子ども図書館』 松居友/著 彩流社 2016.4 ¥1800

15年前、ふらっと訪れたミンダナオ島。イスラム地域で起こる戦争や洪水など何の知識もなかった著者が、「ミンダナオ子ども図書館」を立ち上げ、イスラム教徒、キリスト教徒、先住民の600人近い子どもたちに教育の機会を与え、中でも特に生活困難な子どもたち80人余りと一緒に生活するようになったいきさつを日本の若者に向けて語る。著者は、福音館書店初代編集長・松井直の長男。

<研究書>

『みんな喜ぶわくわくシアターあそびアイデア49 季節ごとに楽しく盛り上がる』 山本省三/著 池田書店 2016.2 ¥1380

絵本や児童書の作者である山本省三が、ペープサート、パネルシアター、手品など、子どもと一緒に楽しめるシアターあそびのアイデア49を、季節ごとに分けて紹介する。所要時間や対象年齢も掲載。準備の仕方や40話分の型紙、イラスト入りの作り方があり、すぐに役立つ。コラムでは、シアターあそびがさらに盛り上がるアイデアやコツを教える。

【県内の動き】

★読みきかせ絵本を楽しむ会 「読み聞かせ」はじめませんか？

- 日時：平成28年6月9日(木) 10:00~12:00 ○会場：山陽小野田市立中央図書館 2階第1会議室
- 対象：絵本の読みきかせ活動に関心のある大人(初心者向き) ○定員：約15名(要申込み) ○参加費：無料
- 照会先：山陽小野田市立中央図書館 (TEL:0836-83-2870)

★じっけんはっけん水の本 科学のおはなし会

- 日時：平成28年6月11日(土) 13:00~15:00 ○会場：ほしらんどくだまつサルビアホールA・B
- 内容：水のはなしと本の紹介“じっけんおもしろい”実験 ○対象：小学生以上
- 講師：土井美香子氏(ガリレオ工房理事内田洋行、ユビキタスライブラリー)
- 定員：100名(要申込み) ○参加費：無料 ○照会先：下松市立図書館 (TEL:0833-41-0093)

★~英語絵本の読み聞かせ会~ “ネイティブの英語で絵本を聞いてみよう!”

- 日時：平成28年6月11日(土) 13:00~14:00 ○会場：周南市立中央図書館
- 内容：英語教師による英語絵本の読み聞かせ ○対象：小学1年生~6年生 ○定員：30名(要申込み、先着順)
- 参加費：無料 ○照会先：周南市立中央図書館 (TEL:0834-22-8682)

★読み聞かせボランティア養成講座

- 日時：第1回平成28年6月15日(水) 第2回平成28年6月29日(水) 第3回平成28年7月13日(水) いずれも14:00~15:30 ○会場：長門市立図書館 ○定員：10名程度(要申込み、先着順)
- 参加費：無料 ○受付期間：平成28年6月5日(日)まで(定員に達し次第締切)
- 参加条件：①全講座に参加できる方②講座終了後、読み聞かせボランティアの会員として活動できる方③定例会(毎月第4水曜日)に出席できる方 ○照会先：長門市立図書館 (TEL:0837-26-5123)

★光市立図書館開館40周年記念 杉山亮さんのものがたりライブ

- 日時：平成28年6月18日(土) 10:00~11:40 ○会場：光市民ホール小ホール ○定員：300名(要申込み)
- 参加費：無料 ○照会先：光市立図書館 (TEL:0833-72-1440)